

- 8) 須藤成章, 諸橋正昭: 悪性線維性組織球腫の1例. 第82回日本皮膚科学会学術大会, 1983, 4, 大阪.
- 9) 須藤成章, 諸橋正昭: 成人T細胞白血病の1例. 第47回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1983, 10, 東京.
- 10) 宮入宏之, 諸橋正昭: 悪性線維性組織球腫の電顕所見について. 第15回日本臨床電子顕微鏡学会学術大会, 1983, 9, 新潟.
- 11) 小西可南, 諸橋正昭: 汎発性強皮症の長期観察例. 第7回日本小児皮膚科学会, 1983, 6, 東京.
- 12) 小西可南, 池田和夫, 老田智江, 諸橋正昭: Oral Florid Papillomatosis の2例. 第34回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1983, 11, 名古屋.
- 13) 池田和夫, 五十嵐良一, 諸橋正昭: 漢方的証をふまえた臨床報告—座瘡について—. 第2回皮膚科東洋医学研究会指定講演, 1983, 3, 福岡.
- 14) 池田和夫, 小田島陽子, 諸橋正昭: 特異な臨床像を呈した Follicular mucinosis. 第82回日本皮膚科学会学術大会, 1983, 4, 大阪.
- 15) 宮入宏之, 丹羽知登世, 諸橋正昭: Angiolipomyoma—特にその電顕像について—. 第82回日本皮膚科学会学術大会, 1983, 4, 大阪.
- 16) 宮入宏之, 池田和夫, 松井千尋, 諸橋正昭, 萩野茂継: Plasma cell dyscrasia の1例. 第34回日本皮膚科学会中部支部学術大会, 1983, 11, 名古屋.
- 17) 山路和彦, 進藤泰子, 諸橋正昭: 脂腺上皮腫の1例. 第47回日本皮膚科学会東日本学術大会, 1983, 10, 東京.
- 18) 須藤成章, 齊藤明宏, 高橋省三: Cutaneous T-cell lymphoma と adult T-cell leukemia の異同について. 第5回富山免疫アレルギー研究会, 1983, 12, 富山.
- 19) 小西可南: Chromoblastomycosis の1例. 第304回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 2, 金沢.
- 20) 檜垣修一: エックリン汗孔腫の1例. 第305回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 6, 金沢.
- 21) 檜垣修一: Erythema dyschromicum perstans の1例. 第306回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 9, 金沢.
- 22) 檜垣修一, 池田和夫: Gianotti 症候群の1例. 第304回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 2, 金沢.
- 23) 老田智江, 小西可南: Amyloid 沈着を認めた prokeratosis. 第306回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 9, 金沢.
- 24) 老田智江, 小西可南: Lymphadenosis ben-

igna cutis. 第307回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 12, 富山.

25) 関太輔, 須藤成章: Itching purpura. 第306回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 9, 金沢.

26) 関太輔, 須藤成章, 松本録一: Milium を続発した Jesner's lymphocytic infiltration of the skin. 第19回皮膚科北信越合同学術大会, 1983, 11, 新潟.

27) 齊藤明宏, 池田和夫: 口唇の扁平苔癬. 第305回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 6, 金沢.

28) 齊藤明宏, 松井千尋, 宮入宏之, 池田和夫: Isolated epidermolytic acanthoma. 第19回北信越合同皮膚科学術大会, 1983, 11, 新潟.

29) 松井千尋, 宮入宏之: 光沢苔癬. 第305回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 6, 金沢.

30) 松井千尋, 宮入宏之: 環状肉芽腫. 第307回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 12, 富山.

31) 山中茂広, 高橋省三: Pigmented pretibial patches. 第307回日本皮膚科学会北陸地方会, 1983, 12, 富山.

32) 池田和夫, 齊藤明宏, 檜垣修一, 宮入宏之, 須藤成章: Erythema dyschromicum perstans の2例. 第19回北信越合同学術大会, 1983, 11, 新潟.

## 小 児 科 学

教 授	岡 田 敏 夫
助 教 授	鈴 木 好 文
講 師	樋 口 晃
講 師	谷 沢 隆 邦
助 手	小 西 徹 夫
助 手	五十嵐 隆 夫
助 手	谷 守 正
助 手	稲 場 進
助 手	村 上 巧 啓
文部技官	松 浦 雅 子

### ◆ 著 書

- 1) 岡田敏夫: 家族性良性血尿, 「医科学大事典」7: 137-138, 講談社, 1983.
- 2) 岡田敏夫: 新生児腎静脈血栓症, 「医科学大事典」, 25: 43, 講談社, 1983.
- 3) 岡田敏夫: 尿路感染症, 「医科学大事典」36: 190-191, 講談社, 1983.
- 4) 岡田敏夫: 泌尿・生殖器疾患, 「国試からみた小児科学」519-542, 中外医学社, 1983.
- 5) 岡田敏夫: 学校における腎疾患の管理, 「1983—今日の治療指針」石山俊治他編 716, 医学書院,

1983.

6) 岡田敏夫：頻尿，「今日の小児治療指針」163，医学書院，1983.

7) 岡田敏夫：排尿痛，「今日の小児治療指針」162-163，医学書院，1983.

8) 谷沢隆邦：IgA腎症の臨床的および病理組織学的分類について，「小児科診療Q&A」2：1099-7の2-7の5，六法出版，1983.

9) 谷沢隆邦：急性糸球体腎炎，「今日の小児治療指針，第5版」531-533，医学書院，1983.

10) 谷沢隆邦，岡田敏夫：膜性増殖性腎炎～type II～，目でみる症例診断 5 腎路疾患 24-25，メジカルビュー社，1983.

#### ◆ 原 著

1) 岡田敏夫：糸球体腎炎，臨床と研究 60：1806-1810，1983.

2) 岡田敏夫：Nephrotic Syndrome，小児内科臨時増刊～小児症候群 15：496-497，1983.

3) 岡田敏夫：Netherton Syndrome，小児内科臨時増刊～小児症候群 15：499；1983.

4) 岡田敏夫：Potter Syndrome，小児内科臨時増刊～小児症候群 15：563-564，1983.

5) 谷沢隆邦，稲場 進，市田蔭子，山谷真己，原 正則，樋口 晃，岡田敏夫：乳児期腎不全の3症例，小児腎不全研究会誌 3：78-82，1983.

6) 谷沢隆邦，岡田敏夫，高田恒郎，五十嵐勝美：腎不全と生検，臨床検査 27：722-731，1983.

7) 鈴木好文：尿閉と血尿，小児科臨床，36：828-835，1983.

8) Suzuki Y., Shima S., Okada T. : Quantitative determination of urinary protein components of children with postural proteinuria, Eur. J. Pediatr. 140 : 268-272, 1983.

9) 市田蔭子，木村晶子，京谷征三，小西 徹，浅田礼子，松井美和，紺田応子，谷沢隆邦，岡田敏夫：Chlorambucilの神経毒性～脳波異常が認められた小児ネフローゼ症候群の2症例，脳と発達 15：366-368，1983.

10) 京谷征三，市田蔭子，谷沢隆邦，樋口 晃，岡田敏夫：慢性腎不全患児（透析児5例を含む）の脳症について，小児腎不全研究会誌 3：120-123，1983.

11) 高田恒郎，柳原俊雄，稲場 進，渡辺真美，福岡幸子，佐藤 泰：持続性低血圧透析患児における Interrupted Hemodialysis（中断透析），腎と透析 14：563-566，1983.

12) 高田恒郎，柳原俊雄，稲場 進，渡辺真美：

持続性低血圧患児に対する Interrupted Hemodialysis（中断透析），小児腎不全研究会誌 3：90-92，1983.

13) 木村晶子，押田喜博，市田蔭子，松島昭広，京谷征三：Pseudo hypoparathyroidism Type II と診断した1例，小児科臨床 36：2543-2548，1983.

14) 稲場 進，高田恒郎，柳原俊雄，渡辺真美：慢性血液透析患児における自律神経機能及び脳波所見，小児腎不全研究会誌 3：118-，1983.

#### ◆ そ の 他

1) 岡田敏夫：小児の腎臓について，全国ネフローゼを守る会会報 13：18-36，1983.

2) 谷 守正：Hemoprobe-B test を用いて，測定した ADN<sub>ase</sub>-B の臨床的有用性，ドクターサロン 27：635-640，1983.

3) 村上巧啓，五十嵐隆夫，岡田敏夫，押田喜博，京谷征三：小児気管支喘息の寛解時期における気道過敏性の研究，アレルギー 32：523，1983.

4) 五十嵐隆夫，村上巧啓，岡田敏夫，足立雄一：乳幼児気管支喘息の気道過敏性測定の試み，アレルギー 32：508，1983.

5) 五十嵐隆夫，足立雄一，岡田敏夫，村上巧啓，吉住 昭：アレルギー学的検査のスコア化とその臨床的検討，日児会誌 87：1121，1983.

6) 村上巧啓，吉住 昭，足立雄一，五十嵐隆夫，岡田敏夫：気管支喘息における吸入試験の標準化案に関する検討，日児誌 87：1128，1983.

7) 伊藤 隆，三猪忠道，寺沢捷年，今田屋章，土佐寛順，五十嵐隆夫：気管支喘息の和漢薬治療，Proc. Symp. WAKAN-YAKU 16，187，1983.

8) Yanagihara T., Inaba S., Takada T., Mase D., Tani M., Yamatani M., Ichiida F., Hara M., Higuchi A., Tanizawa T., Okada T. : Clinico-histopathologic Study of renal biopsy Specimens from children with IgA Nephropathy, Eur. J. Pediatr. 14 : 156-, 1983.

9) 稲場 進，谷沢隆邦，馬瀬大助，樋口 晃，岡田敏夫，柳原俊雄，高田恒郎，河野 晃：膜性腎症の7症例，日児誌 87：102，1983.

10) 高田恒郎，柳原俊雄，谷沢隆邦，木原 達：膜性増殖性糸球体腎炎，病理と臨床 1：1260-1272，1983.

11) 五十嵐隆夫，村上巧啓：小児気管支喘息における気道過敏性に関する研究，とやま県医報 864：18-28，1983.

12) 五十嵐隆夫，樋口 晃，岡田敏夫，深瀬真之，小泉富美朝，江本清和：Angio-immunoblastic lym-

lymphadenopathy with dysproteinemia (Frizzera)と 考えられる 3 歳男児例. 小児科臨床 36: 69-74, 1983.

13) 五十嵐隆夫, 嶋尾 智, 村上巧啓, 岡 伸夫, 神山和也: 腰部脂肪髄膜瘤の 2 例. 小児科臨床 36: 189-193, 1983.

14) 鏡森定信, 成瀬優知, 渡辺正男, 尾崎由紀子, 京谷征三, 五十嵐隆夫: 小児の尿中 IgE レベルとその遺伝的要因の検討. 北陸公衛誌 10: 26-30, 1983.

15) 寺西秀豊, 加須屋 実, 青島恵子, 加藤 輝, 窪田裕子, 五十嵐隆夫: プレバラートトラップ法による屋内塵性ダニ捕集の試み. 北陸公衛誌 10: 14-19, 1983.

16) 小西 徹, 嶋尾 智, 鈴木好文, 岡田敏夫: 体位性蛋白尿~その発生機序に関する検討~とやま県医報 853: 20-24, 1983.

17) 谷 守正, 谷沢隆邦, 稲場 進, 原 正則, 樋口 晃, 鈴木好文, 岡田敏夫: 糸球体と酸性ムコ多糖類 (腎生検組織におけるコロイド鉄染色の臨床的有用性). 日誌 87: 109-, 1983.

18) 桑原春樹, 高田恒郎, 柳原俊雄, 村上巧啓, 稲場 進, 阿部僚一: 小児内視鏡50例の経験. 日誌 87: 332, 1983.

19) 樋口 晃, 谷 守正, 稲場 進, 馬瀬大助, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: MPGN Type II の 2 症例. 日誌 87: 99, 1983.

20) 市田落子, 岡田敏夫, 竹内則夫, 富田 英, 中谷茂和, 新垣義夫, 神谷哲郎: 超音波パルスドプラ法による小児腹部大動脈血流速波形の検討. 第43回日本超音波医学会論文集 43: 817-818, 1983.

#### ◆ 学会報告

1) 岡田敏夫, 鈴木好文, 小西 徹, 嶋尾 智, 石本二見男: 先天性尿細管機能異常症と思われる 3 症例. 第13回日本腎臓学会西部部会, 1983, 5, 倉敷.

2) 樋口 晃, 馬瀬大助, 市田落子, 原 正則, 山谷真己, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: ネフローゼ症候群で発見された Wilms 腫瘍の 1 例. 第13回日本腎臓学会西部部会, 1983, 5, 倉敷.

3) 原 正則, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 山谷真己, 馬瀬大助, 岡田敏夫, 市田落子: 巣状糸球体硬化症及び感音性難聴を合併した Charcot-Marie-Tooth (CMT) 症の 1 例. 第13回日本腎臓学会西部部会, 1983, 5, 倉敷.

4) 市田落子, 浅田礼子, 松井美和, 小西 徹, 谷沢隆邦, 京谷征一, 木村晶子: 頻回再発型ネフローゼ症候群の Chlorambucil 療法~とくにその神経

毒性について~. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

5) 岡田敏夫, 鈴木好文, 樋口 晃, 小西 徹, 嶋尾 智, 馬瀬大助: 学校検尿にて発見された先天性尿細管機能異常症と思われる 5 症例. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

6) 馬瀬大助, 谷 守正, 山谷真己, 原 正則, 本間一正, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 小児期 IgA 腎症の経時的組織所見. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

7) 樋口 晃, 馬瀬大助, 原 正則, 山谷真己, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 糸球体基底膜 anionic sites の Polyethyleneimine による電顕観察. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

8) 原 正則, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 山谷真己, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 尿蛋白像と組織像との対比(第一報). 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

9) 高田恒郎, 稲場 進, 柳原俊雄, 吉住 昭: 中断透析 (Interrupted Hemodialysis) における生体適合性の検討. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

10) 稲場 進, 高田恒郎, 柳原俊雄, 吉住 昭: 小児期巣状分節性糸球体硬化症の10例における臨床及び組織学的所見. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

11) 柳原俊雄, 高田恒郎, 桑原春樹, 稲場 進, 村上巧啓, 吉住 昭, 阿部僚一: 重篤な呼吸不全を合併した特発性ミオグロビン尿症の 1 例. 第19回日本小児腎臓病学会, 1983, 6, 東京.

12) Suzuki Y., Shimao S., Okada T.: Quantitative determination of urinary protein components of children with postural proteinuria. Second Asian Pacific Congress of Nephrology, Feb. 1983, Melbourne.

13) Tanizawa T., Mase D., Yamatani M., Hara M., Higuchi A., Okada T., Kobayashi O.: Immunohistologic study of renal biopsy specimens from children with Schönlein-Henoch Purpura, Sixth International Symposium of Paediatric Nephrology, August, 1983, Hannover,

14) Yanagihara T., Inaba S., Takada T., Mase D., Yamatani M., Icida F., Hara M., Higuchi A., Tani T., Tanizawa T., Okada T.: Clinicohistopathologic study of renal biopsy specimens from children with IgA nephropathy,

Sixth International Symposium of Paediatric Nephrology. August, 1983, Hannover.

15) 樋口 晃, 鈴木好文, 岡田敏夫: Chromosome 8 の長腕部分欠損のない Langer Giedion Syndrome, 第19回中部日本小児科学会, 1983, 9, 松本.

16) 足立雄一, 嶋尾 智, 窪田博道, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫: 新生児腎静脈血栓症の1例. 第19回中部日本小児科学会, 1983, 9, 松本.

17) 小西 徹, 山谷美和, 紺田応子, 岡田敏夫: 抗けいれん剤服用児における抗核抗体免疫グロブリンの検討. 第19回中部日本小児科学会, 1983, 9, 松本.

18) 樋口 晃, 馬瀬大助, 稲場 進, 原 正則, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 糸球体基底膜 anionic stites の polyethyleneimine 浸透法による電顕的観察. 第26回日本腎臓学会, 1983, 10, 京都.

19) 原 正則, 谷沢隆邦, 樋口 晃, 鈴木好文, 岡田敏夫: 尿蛋白像よりみた小児期腎疾患の検討. 第26回日本腎臓学会, 1983, 10, 京都.

20) Suzuki Y., Okada T.: Five boys with tubular proteinuria. A follow up study, 8th International Conference on Calcium Regulating Hormones. Oct., 1983, Kobe.

21) 鈴木好文, 嶋尾 智: 新生児期における尿中蛋白及び尿中 N-acetyl- $\beta$ -D-glucosaminidase (NAG) の動態. 第19回日本新生児学会総会, 1983, 7, 東京.

22) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 足立雄一: 乳幼児気管支喘息の気道過敏性測定を試み, 第33回日本アレルギー学会, 1983, 10, 千葉.

23) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 押田喜博, 京谷征三: 小児気管支喘息の寛解時期における気道過敏性の研究. 第33回日本アレルギー学会, 1983, 10, 千葉.

24) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 足立雄一, 吉住 昭: 気管支喘息児における経時的酸素分圧測定の臨床的応用. 第20回小児アレルギー研究会, 1983, 11, 東京.

25) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 足立雄一, 吉住 昭: 乳幼児気管支喘息の気道過敏性測定を試み～経皮酸素分圧を指標としたヒスタミンアセチルコリン吸入試験についての検討～. 第20回小児アレルギー研究会, 1983, 11, 東京.

26) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 岡田敏夫, 樋口 晃: N-5'(Rizaben) が有効であった好酸球性胃腸炎の1例. 第20回小児アレルギー研究会, 1983, 11, 東京.

27) 稲場 進, 馬瀬大助, 市田落子, 谷 守正, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫, 山谷真己, 京谷征三: 学校検尿で発見された高尿酸尿症による腎不全の一例: 第5回小児腎不全研究会, 1983, 9, 伊豆.

28) 市田落子, 岡田敏夫, 竹内則夫, 富田 英, 中谷茂和, 新垣義夫, 神谷哲郎: 超音波パルスドプラ法による小児腹部大動脈血流波形の検討. 第43回日本超音波医学会, 1983, 12, 福岡.

29) 小西 徹, 紺田応子, 鈴木好文, 岡田敏夫: Von Recklinghausen 症11例の臨床的検討. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

30) 谷沢隆邦, 稲場 進, 谷 守正, 山谷真己, 樋口 晃, 岡田敏夫, 永井 晃: 鎖骨下静脈を Blood Access とした乳児慢性腎不全の1症例. 第28回人工透析研究会総会, 1983, 7, 新潟.

31) 山谷美和, 本間一正, 江本清和, 馬瀬大助, 稲場 進, 谷 守正, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 経時的生検を施行した小児期 IgA 腎症の2症例. 北陸腎疾患懇話会, 1983, 12, 金沢.

32) 谷沢隆邦, 稲場 進, 樋口 晃, 岡田敏夫, 山谷真己, 京谷征三, 谷沢龍彦, 高橋栄明: 骨生検にて確認した原発性高尿酸尿症による小児慢性腎不全の1例. 第5回北陸骨 Ca 代謝懇話会, 1983, 10, 金沢.

33) 山田美也子, 小西 徹, 鈴木好文, 岡田敏夫: 囊胞腎の2症例. 第4回北陸先天異常研究会, 1983, 10, 金沢.

34) 山田美也子, 小西 徹, 窪田博道, 岡田敏夫: Arthrogyrosis multiple congenita の1例. 第4回北陸小児神経懇話会, 1983, 9, 金沢.

35) 稲場 進, 谷 守正, 市田落子, 樋口 晃, 谷沢隆邦, 岡田敏夫: 小児期膜性腎炎の15例. 第6回富山腎疾患人工透析研究会, 1983, 7, 富山.

36) 樋口 晃, 山谷真己, 谷 守正, 五十嵐隆夫, 谷沢隆邦, 鈴木好文, 岡田敏夫: 腎膿瘍の3症例. 第7回富山腎疾患人工透析研究会, 1983, 11, 富山.

37) 谷 守正, 嶋尾 智, 岡田敏夫: 高速液体クロマトグラフィによる尿中蛋白の分析～その臨床応用について～. 第6回富山県腎疾患・人工透析研究会, 1983, 7, 富山.

38) 嶋尾 智, 鈴木好文, 今井郁子, 岡田敏夫: 新生児期の尿中蛋白及び尿中アミノ酸排泄について～双生児における検討～. 第28回未熟児新生児研究会, 1983, 10, 岩手.

39) 谷沢隆邦, 稲場 進, 樋口 晃, 岡田敏夫: 骨生検にて確認した原発性高尿酸尿症による小児慢性腎不全の1例, 第5回北陸骨 Ca 代謝懇話会,

1983, 11, 金沢.

40) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 京谷征三: 小児気管支喘息の寛解時期における気道過敏性の変動. 第10回北陸アレルギー懇話会, 1983, 11, 金沢.

41) 村上巧啓, 松野正知, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫: N-5'(Rizaben) が有効であった好酸球性胃腸炎の一例. 第5回富山免疫アレルギー研究会, 1983, 12, 富山.

43) 村上巧啓, 五十嵐隆夫, 岡田敏夫, 押田喜博, 京谷征三: 小児気管支喘息の寛解時期における気道過敏性の研究. 第204回日本小児科学会北陸地方会, 1983, 9, 金沢.

44) 五十嵐隆夫, 村上巧啓, 足立雄一, 岡田敏夫: 乳幼児気管支喘息の気道過敏性測定の試み. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

45) 村上巧啓, 五十嵐隆夫: 気管支喘息におけるリザベン(トラニラスト)の長期使用経験. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

46) 紺田応子, 小西 徹, 松井美和, 岡田敏夫: 夜尿症の Kimmel-Azrin 法脳波異常について. 第3回北陸小児神経懇話会, 1983, 2, 金沢.

47) 小西 徹, 松井美和, 紺田応子, 岡田敏夫: 抗ケイレン剤服用児における抗核抗体陽性について. 第7回北陸てんかん懇話会, 1983, 3, 金沢.

48) 紺田応子, 小西 徹: 心身症20例の検討. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

49) 山田美也子, 小西 徹: 毒ウツギ中毒の一例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

50) 島田一郎, 加藤あゆみ, 谷 守正: 潰瘍性大腸炎の2例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

51) 谷 守正, 三枝伸子: 低身長13例の臨床的検討. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

52) 加藤あゆみ, 谷 守正: 若年性ポリープの1例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

53) 窪田博道, 村上巧啓, 稲場 進, 嶋尾 智: 18-Trisomy の3例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

54) 今井郁子, 村上巧啓, 稲場 進: 新生児腸回転異常症の2例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

55) 稲場 進, 窪田博道: 当科で経験したEBウイルス感染症の5例. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

56) 市田落子, 原 正則: 先天性肺動脈欠損の1例. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

57) 原 正則, 樋口 晃: 巣状糸球体硬化症及び

感音性難聴を合併した Charcot-Marie-Tooth (CMT) 症の1例. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

58) 市田落子, 岡田敏夫, 京谷征三, 木村晶子, 押田喜博: HBワクチンによる小児期HBV水平感染予防の試み. 第37回北陸医学会, 1983, 9, 金沢.

59) 山谷美和, 本間一正, 江本清和: EIEEを疑われた難治性乳児早期けいれんの2例. 第6回小児科集談会, 1983, 11, 富山.

60) 本間一正, 山谷美和, 江本清和: てんかん児への予防注射接種について. 日赤医学会総会, 1983, 11, 名古屋.

61) 本間一正, 山谷美和, 江本清和: 選択的IgA欠損症の一例. 第5回富山県小児科集談会, 1983, 6, 富山.

62) 三枝伸子: 横隔膜ヘルニア(Bochdalek 孔ヘルニア)の3例. 第6回富山県小児科集談会, 1983, 11, 富山.

## 精神神経医学

教 授	遠 藤 正 臣
助 教 授	中 村 一 郎
講 師	清 水 昭 規
講 師	細 川 邦 仁
助 手	数 川 悟
助 手	藤 井 勉
助 手	烏帽子田 彰

### ◆ 原 著

1) 山口成良, 松原六郎, 木原義春, 鳥居方策, 松原三郎, 遠藤正臣, 数川 悟, 藤井 勉, 河合義治, 水腰久美子: うつ病に対する Dosulepin の臨床治験. 基礎と臨床 17(1): 346-352, 1983.

2) Shimizu A., Endo M. and Nakamura I.: Tachistoscopic recognition of normal and mirror images of Kana and Kanji characters; Folia Psychiatr. Neurol. Jpn, 37(1): 77-84, 1983.

3) Shimizu A. and Endo M.: Handedness and familial sinistrality in a Japanese student population. Cortex 19(2): 265-272, 1983.

4) Shimizu A. and Endo M.: Comparison of patterns of handedness between twins and singletons in Japan. Cortex 19(3): 345-352, 1983.

### ◆ 学会報告

1) 藤井 勉, 遠藤正臣, 清水昭規, 堀 有行,